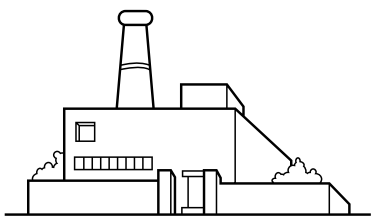


# クリーンセンター建設に向けて



クリーンセンター建設には、みなさんのご理解とご協力が必要です。  
これまで、名称を「清掃センター」で掲載していましたが、本市が目指す施設は、環境に配慮した、また余熱利用などをおこない、循環型社会を推進するためのクリーンな施設です。そこで今月号から、「クリーンセンター」に名称を変更しました。(審議会などの名称は除く)  
今月号では、6月29日におこなわれた第2回清掃センター建設審議会の内容とクリーンセンターについてのQ&Aを紹介します。

## 第2回清掃センター建設審議会【6月29日(月)】では、次のことをおこないました

### ●建設候補地(5か所)を視察

建設計画における建設候補地を視察しました。

### ●先進地視察

枚方市東部清掃工場を視察しました。この施設の稼働日は、平成20年12月末であり、近隣自治体では最新のクリーンセンターです。最新技術を駆使しているだけでなく、周辺環境にも配慮した構造となっています。臭いなどが周辺に漏れないように、エアカーテンや自動扉などを設置しており、一番近い人口集落から約600m程度ですが、これまで苦情などは特に寄せられていないとのことでした。



### 枚方市東部清掃工場概要

敷地面積：約80,600㎡ 建築面積：約6,160㎡  
施設規模：処理方式…ストーカ式焼却炉  
ごみ処理施設…120 t / 24時間×2炉  
灰溶融炉…24 t / 24時間×2炉

## ■ クリーンセンターQ&A ■

### Q. 私たちにできるクリーンセンターにやさしい取組とは？

A. 現在のごみの処理方法は、3R(発生抑制、再使用、再生利用)を基本としています。そのため、木津川市では廃棄物を9種類に分別し収集しています。ごみは分別すれば資源として有効に利用できます。みなさん一人ひとりが意識して、分別いただくことで、効率的に資源を回収できます。また、分別してもなお残るごみはクリーンセンターで焼却することになりますが、ごみの量を減らすことでクリーンセンターへの負担を少なくすることができます。  
なお、次月号では、可燃ごみの減量方法を紹介します。

### Q. 建設予定のクリーンセンターは？

A. これまでの多くの清掃センターでは、単に、ごみを焼却処分するだけの施設でした。しかし、近年のクリーンセンターは地球環境に配慮したクリーンな施設になっています。また、焼却温度が800～1,100℃ほどにもなるため、その熱をボイラーにより蒸気の形で回収し、場内の温水や自家発電に利用することが多くなっています。木津川市でも最新技術を用いて、このようなクリーンな循環型施設を目指しています。

問合せ まち美化推進課 清掃センター推進室  
☎75-1215 Fax72-3900  
E-mail: clean-center@city.kizugawa.lg.jp